

薬の伝言板～逆流性食道炎～



No.235 2017年6月

丸子中央病院 薬局

逆流性食道炎は、もともと日本人には少ない病気でしたが、食生活の変化などによって最近患者さんが増えています。胸やけなどの症状はありませんか？

逆流性食道炎とは??

胃液は、食べ物を消化するために強い酸性の胃酸や消化酵素を含んでおり、強い刺激性があります。粘膜によって保護されている胃と違い、食道は胃液に対する抵抗力が弱いので、健康な状態では、胃液が食道に逆流しない仕組みが働いています。

その主役が下部食道括約筋です。下部食道括約筋の調節がうまくいなくなると、胃液や消化中の食べ物が食道に逆流します。胃から食道への逆流が繰り返し起こると、食道の粘膜に潰瘍やびらん(粘膜のただれ)が生じ、胸やけなどの症状が起こります。これを逆流性食道炎と言います。



かぶしょくどうかつやくきん 下部食道括約筋

食道と胃のつなぎ目にある筋肉で、食べ物を飲み込む時には緩んで食道から胃に食べ物が落ちるようにし、それ以外の時は食道を締めて胃の内容物が逆流しないように働いています。

症状

☆胸やけ・呑酸

胸にやけるような不快感や、酸っぱい液体が口が上がってくるようなゲップが出る。

☆胸の痛み

胸がしめつけられるような痛みがある。

☆咳・喘息

逆流した胃液がのどや気管支を刺激したり、気道粘膜を介して神経を刺激して起こる。

☆のどの違和感・声かれ

ひどくなると食べ物の飲み込みにくさが現れることもある。



原因



- ☆加齢：歳を取ると、下部食道括約筋の働きが悪くなります。
- ☆背中が曲がった人：背中が曲がるとお腹が圧迫され、胃の中の圧力が高まるため、胃酸が逆流しやすくなります。
- ☆脂肪の多い食事、食べ過ぎ：下部食道括約筋が緩みやすくなる。胃酸の分泌も増加するため逆流が起こりやすくなります。
- ☆タンパク質の多い食事：消化に時間がかかり、胃に長く留まるため、胃酸の逆流が起こりやすくなる。

治療薬



下記の薬剤を単剤または併用し治療を行ないます。

分類	商品名	作用
H ₂ ブロッカー	ファモチジン錠など	胃酸の分泌を抑える
PPI (プロトンポンプ阻害薬)	ネキシウムカプセル ランソプラゾール OD 錠 など	胃酸の分泌を抑える
P-CAB (カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー)	タケキャブ錠	胃酸の分泌を抑える
粘膜保護剤	アルロイドG内用液 など	食道の粘膜を覆い、胃酸から守る
消化管運動機能改善薬	モサプリド錠 など	消化器の動きを良くし、食べ物を胃から十二指腸へ送るのをサポートする
制酸薬	スクラルファート細粒 など	胃酸を中和、胃酸の逆流による食道の損傷を和らげる

自覚症状が無くなっても、食道の炎症が残っている場合があります。
また逆流性食道炎は、一度よくなっても再発しやすい病気です。
ご自身の判断で処方されたお薬の服用をやめないようにしましょう。

